科 名:皮膚科



専門医資格等 日本皮膚科学会専門医 専門分野 皮膚科一般、皮膚免疫 得意疾患乾癬、糖尿病足病変

医長 十一 英子

ロスタッフ

平成23年10月1日時点

役職	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	岡本奈都子	日本皮膚科学会専門医	皮膚科一般	
医 師	林 雄二郎	日本皮膚科学会専門医	皮膚科一般	
レジデント	櫻 井 謙 次		皮膚科一般	

□診療科の特徴

施設認定等	日本皮膚科学会専門医研修施設
	生物学的製剤使用承認施設

- 1. 糖尿病足病変、基礎疾患を持つ蜂窩織炎、帯状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
- 2. 乾癬に対する生物学的製剤による治療を行っています。
- 3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

□代表的診療対象疾患

アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹、乾癬、薬疹、水疱症、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、 細菌感染症(ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など)、

ウイルス感染症(帯状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など)、

真菌感染症(足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など)など

□診療(業務)内容

糖尿病に合併する皮膚疾患:糖尿病センターとの連携のもと、糖尿病と関連した足病変、 皮膚病変の診療を行っています。

乾癬:中等症~重症では、免疫抑制剤や生物製剤による治療を行っています。

帯状疱疹(ヘルペス):重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、入院で点滴治療を行っています。

爪白癬:難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。

接触皮膚炎:かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。

薬疹: 重症薬疹は入院で治療しています。

診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

入院患者数

	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数	
2011年度	4.1	62	23.4	

外来患者数

	1日平均患者数	紹介率	逆紹介率
2011年度	69.3	28.5%	15.2%

主な手術・検査の件数など

	皮膚生検	皮膚切開術	皮膚皮下腫瘍摘出術
2011年度	242件	46件	109件

□地域医療連携・広報活動

市民講座「皮膚の日」講演「糖尿病と足の皮膚病-放っておくと大変なことに!-」 2011年11月13日 十一英子

□学術活動報告(学会・研究発表など)

年	場所	内容
2011	国内学会	辻花光次郎,楠葉展大,鬼頭昭彦,十一英子,安部佐和子,荒田順.左下腿に生じたcalcific myonecrosis の 1 例.日本皮膚科学会京滋地方会 2011年6月18日;京都
2011	国内学会	趙玲愛, 辻花光次郎, 鬼頭昭彦, 十一英子, 西村翔, 神田智子, 本田啓吾, 岡村美里, 荒木則雄. 顔面と頚部の腫脹から肺癌が判明した上大静脈症候群の1例. 近畿皮膚科集談会 2011年7月10日; 大阪
2011	国内学会	十一英子,辻花光次郎,涌田あすか,鬼頭昭彦.TNFα阻害薬による掌蹠膿疱症様、乾癬様皮疹に 脱毛を伴う症例の治療.日本乾癬学会 2011年9月10日;大阪
2011	国内学会	林雄二郎, 櫻井謙次, 岡本奈都子, 十一英子, 浅田秀典, 米谷あずみ. 閉塞性動脈硬化症と Calciphylaxis合併例の皮膚潰瘍に血行再建が奏功した 1 例. 日本皮膚科学会京滋地方会 2011年12月 17日;京都
2012	国内学会	櫻井謙次,林雄二郎,岡本奈都子,十一英子,山本鉄郎. 頬部に生じた癌肉腫の1例.日本皮膚科学会京滋地方会 2012年3月10日;京都

□投稿論文など

年	内容
2011	十一英子 高齢者の足趾壊疽をみたら? 高齢者の皮膚トラブルFAQ 141-143 宮地良樹, 北徹編 診断と治療 社
2011	十一英子 糖尿病性壊疽「糖尿病患者の足が黒色に変色してきた」.外来皮膚科ER最前線 228-233 宮地良樹編 メディカルレビュー社
2011	遠藤雄一郎,林雄二郎,道上幹子,瀧玲子,谷岡未樹,是枝哲,十一英子,門脇則光,松村由美,宮地良樹 予後 不良であった原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫の 2 例.Skin Cancer 26(1):15-20
2011	楠葉展大, 辻花光次郎, 涌田あすか, 鬼頭昭彦, 十一英子 動眼神経麻痺と外転神経麻痺をきたした眼部帯状疱疹 皮膚病診療 33(11):1145-1148
2011	楠葉展大,山田玉静,涌田あすか,鬼頭昭彦,十一英子 アスコルビン酸内服を試みた臀部肉芽腫の1例 皮膚科の臨床 53(13):1893-1896